

# 世界で働きたい君へ。 熊本大学の新しい国際教育が始まります。



座談会：原田学長×高校生

新しい時代を生きる高校生と話したい、  
熊本大学のグローバル化のこと。

留学体験学生インタビュー

早く体験して欲しい、留学の価値。

グローバル科目

熊本にしながら、世界に学ぶ。

グローバル化の時代の要請に応え、  
変革の時を迎えた熊本大学。  
いよいよ平成29年春には、  
グローバルリーダーコースが開設されます。  
そこで、その時に大学進学を迎える、  
熊本の高校2年生の皆さんとの  
座談会を開催しました。  
熊本大学原田学長、  
高島副学長(国際交流担当)が、  
高校生の疑問に答えます。

🌐 原田学長 × 高校生

# 新しい時代を生きる 高校生と話したい、 熊本大学のグローバル化のこと。



熊本大学 学長 <b>原田 信志</b> HARADA Shinji
熊本大学 副学長 (国際交流担当) <b>高島 和希</b> TAKASHIMA Kazuki
熊本マリスト学園高等学校 2年 <b>本田 真鈴</b> さん HONDA Marin
熊本県立第二高等学校 2年 <b>佐々木 徹</b> さん SASAKI Toru
真和高等学校 2年 <b>蓮池 創太郎</b> さん HASUIKE Sotaro
熊本県立済々黌高等学校 2年 <b>西口 晴乃亮</b> さん NISHIGUCHI Seinosuke
熊本県立宇土高等学校 2年 <b>星野 朱音</b> さん HOSHINO Akane
高校生・後列左より

五高記念館にて(平成27年11月14日)

皆さんのプロフィールを聞かせてください。  
将来の夢、そして、  
海外の文化や言葉についての考えなど。

**蓮池さん:**僕は国連を目指しています。今年の夏、アメリカのボストンへ行って、ハーバード大学を見学しました。  
**原田学長:**ボストンは良い街ですね。イタリア人街のピザもおいしいけど、「京都」という名前の中料理店がおいしくて聞いてね(笑)。  
**蓮池さん:**僕は「札幌」っていう韓国料理店がおいしいと聞きましたよ(笑)。



熊本大学 学長 原田 信志

熊本大学医学部卒。マサチューセッツ大学医学部病理学教室  
医学研究員、京都大学助教授などを経て、平成元年熊本大学  
医学部教授。エイズ学研究センター長、大学院生命科学研  
究部長、理事・副学長を歴任。平成27年4月第13代学長に就任。

**佐々木さん:**将来は研究者を考えています。化学が好きで、今、SSH(文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定校)でコーヒーのカスで活性炭を作る研究をやっています。読書も好きです。今、世界史の授業で興味を惹かれたインド二大叙事詩のひとつ「ラーマヤナ」を読んでいます。  
**高島副学長:**むずかしい本を読んでいますね!  
**高校生たち:**すごい!(笑)

**星野さん:**私は今年の夏、タイで「アジア・サイエンスキャンプ」に参加しました。アジア各国の300人の学生が1週間生活を共にしながら、ノーベル賞受賞者の講義を受けたり、科学について話し合ったり。とても刺激を受けました。みんな英語を母国語のように話すんです。「英語は大事だなあ」と思いました。でも、「英語はツール」だとも感じました。結局、話せる内容を持たないと、自分のことが話せないですね。  
**原田学長:**すばらしい経験ですね。私は大学までずっと熊本で、卒業後に初めて海外に行ったので、星野さんどころじゃないカルチャーショックだった(笑)。

**本田さん:**私はJRC(日本赤十字社)の国際文化交流に参加しています。会話は英語ですが、いろいろな方がいらっしやるので、手話も教えていただいています。海外は去年の夏休み、オーストラリアに。ホームステイ先の子どもたちと一緒に学校へ行って、一緒に授業を受けました。  
**高島副学長:**私も国際共同研究で何度もシドニーに行きましたが、いいところですね。将来の夢は?  
**本田さん:**外交官になっていろんな国に行ってみたいです。私の高校は、フランス革命の時に貧しい子どもたちに勉強を教えるために作られた学校が発祥で、その話をよく聞いていたので、フランスや外国に興味を持ったんです。

**西口さん:**今年、2週間ほどドイツのハイデルブルクとフライブルクに。僕の高校がSGH(文部科学省スーパーグローバルハイスクール)に採択されて、主に環境問題を学びに行きました。  
**原田学長:**哲学の道、川の向こうのお城、いいところですね。フライブルクには行ったことがないけれど、あそこにもいい大学がある。  
**高島副学長:**フライブルク大学は毎年海外語学セミナーで熊大生が行ってますよ。将来の夢は?  
**西口さん:**将来は民間企業の国際関係の部署で働きたいです。自分で企画して、企業の国際シェアを伸ばしていくような。  
**高島副学長:**今、多くの企業が国際的な人材を求めています。日本企業もどこかで海外とつながっている時代ですからね。みなさん、海外に興味を持ち、国際的な仕事をしたいという夢を持っておられる。とても頼もしく思いますね。

熊本大学の国際化について、お話ししましょう。  
まずはグローバル化の必要性と  
熊本大学の取り組みについて。

**高島副学長:**これからの日本はグローバル化を避けて通れません。そこで、文部科学省が「スーパーグローバル大学創成支援」事業をスタートさせました。いろんな大学が「私たちの大学はこういう国際化を進めたい」という申請をし、熊本大学の取り組みが採択されたということですね。「大学のグローバル化」には教育、研究、組織など、いろんなことが含まれます。みなさんに直接関係するのが「教育のグローバル化」です。そこで、熊大の中に「グローバル教育カレッジ」という組織を作りました。教育については、この組織がグローバル化の推進役になります。



## スーパーグローバル大学創成支援事業とは

国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携など国際化を徹底して進める大学や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化を進める大学を重点的に支援する文部科学省によって平成26年度に開始された事業。

## グローバル教育カレッジとは

熊本大学のグローバル教育を改革的に推進するためのパワーエンジンとなる新組織。カレッジを構成する3つの教育センターが中心となって、熊本大学のグローバル化を進めます。

- **グローバル人材教育センター**  
国際経験の豊富な講師陣が、グローバル科目(英語による教養・リベラルアーツ科目)を提供します。
- **日本語・日本文化教育センター**  
日本語・日本文化を学ぶ留学生のために、質の高い教育カリキュラムを提供します。そして、外国人留学生や研究者のさらなる受け入れを促進します。
- **オープン教育センター**  
地域の中高校生等へのグローバル教育提供など、地域にグローバルな「学び」の場を提供する「熊大グローバルYouthキャンパス」事業を実施します。



## 平成29年春、「グローバルリーダーコース」が新設されます。国際性と専門性を兼ね備えた、画期的なカリキュラムのスタートです。

**高島副学長:**これからは多様な価値観を理解できる「豊かな教養」と「国際感覚」が必要です。しかし、同時に「確かな専門性」も求められています。国際的な視点を持ちながら、専門的な課題の解決に挑戦していける、そういう人を育成していこうというコースです。グローバルリーダーコースの定員は文学部・法学部・理学部が各10名、工学部20名の合計50名です。教育は文理融合型で、最初の2年間は50名が各自の専門分野の教育に加えて、英語を主体とした教養教育を受けます。文理の壁を越えた勉学を2年間行い、生涯の仲間づくり、専門性を越えた協力ができる環境を整えたいと考えています。このコースには「Late Specialization」という仕組みがあります。通常は、大学入学時に学科やコースを選択しますが、ここでは入学時には学科を限定せず、3年に進級するまでに進むべき学科を選びます。場合によっては学部そのものを変えることもあり得ます(一定の要件を満たせば、他学部への転部も可能)。こうすることで、まず専門性を超えたグローバルな視点を身につけ、さらに高度な専門性を獲得して卒業していくのです。

## 卒業したら、どういう道が開けるのだろう。英語が使えるだけでなく、専門的なスキルを持った人たちが求められる時代。

**高島副学長:**卒業後は国内外の大学院に進むという選択もあるでしょうし、グローバル企業への就職もあると思います。企業の方々からは、「国際的な素養だけでなく、専門分野で活躍できる能力を併せ持った人材がほしい」という声を多く聞きます。先ほど「国連で働きたい」というお話がありました。国連に加え、ユネスコ、あるいはISO(国際標準化機構)もあります。私は国際標準の仕事もしていて、国際会議にも出席しますが、ああいう専門的な分野には日本人は少ないのです。日本は世界に誇る工業技術を持っていますが、国際対応は非常に手薄。まさに国際的な人材が待ち望まれています。



熊本大学 副学長(国際交流担当) **高島 和希**

熊本大学工学部卒。東京工業大学大学院を修了後、長岡技術科学大学、東京工業大学を経て、平成18年大学院自然科学研究科教授、平成24年大学院自然科学研究科長、平成27年4月副学長(国際交流担当)に就任。グローバル教育カレッジ長を兼任している。

## 高校生から熊本大学へ。聞きたいこと、知りたいこと、疑問に思うこと。

**蓮池さん:**日本の大学は文系・理系とはっきり分かれています。海外では文理の壁がありませんね？  
**原田学長:**大学にある壁のひとつが「文系・理系の壁」です。私の専門は医学ですが文系の本も読みます。医学と小説は関係ないようですが、小説の中に描かれる考え方というのは意外に医学にも役立つのです。グローバルリーダーコースは壁を越えるひとつのモデルケースです。最初の2年間は文理の壁を越えた教育を行い、その後、自分の方針を決める。日本の教育はこのようなスタイルが基本になるのではないかと、私はそう考えています。  
**高島副学長:**今回のコースは4つの学部ですが、そこで提供される「グローバル科目」は他の学部の人たちも選択科目として受講することができます。

**佐々木さん:**グローバル教養に力を入れることで、逆に専門性が低下するということはないのですか？  
**高島副学長:**まったく心配ありませんよ。例えば工学部であれば「JABEE」という国際的な学士資格制度があります。熊本大学で学士を取れば、世界中で工学分野の学士として認められます。グローバルリーダーコースでも、この基準を満たさなければ学士の資格は得られません。

**星野さん:**私も1年の時に文理選択でとても迷ったので、このコースは理想的なスタイルだなと思います。私は医学部を目指したいのですが、他学部からも選択科目としてこのコースに参加できるのなら、熊大に入ったらぜひ出席したいです。

**本田さん:**法学を学びたいけど、海外でも働きたい。だから法学部に進むか、国際的な専門大学に行くか…。外交官になるには東京の大学に行かないとダメと思っていたので、熊本の大学でこういうコースができるのはとてもうれしいです。  
**原田学長:**目標に向かっていくにはいろんな道があります。星野さんのお話にもつながるけど、医学部を出て外交官になる人もいます。外務省には医官というお医者さんがいて、外交官などの健康管理を担当しているんですね。実は私の息子もそうで、医者をやめて外交官になろうかなとも言っています(笑)。

**西口さん:**まだネームバリューで大学を選ぶ企業もあると聞きますが、今後は企業も地方の大学に目を向けるようになるのでしょうか？  
**原田学長:**そうなって欲しいと願います。有名な大学から、あるいは縁故関係から採用するというやり方は崩れつつあると思います。やはり能力による人材採用をしなければね。  
**高島副学長:**工学系ではすでに実力次第になっています。大手企業が有名大学よりも熊本大学の学生を採用するケースも増えていきますからね。

## 大学で何を学ぶのか。目標を持って、大学や学部を選ぶことの大切さ。

**原田学長:**熊本大学は文科省から「基礎的な研究をよく推進している」と非常に高く評価されています。高島先生の工学部ではマテリアル分野で素晴らしい研究をされ、産業界でも応用されています。医学部も基礎研究を大事にしていきたいと思っています。熊本大学の特徴はそこにあるからです。一方、文系でも研究部門を強化していこうとしています。すでに「永青文庫研究センター」は優れた研究をしています。熊本大学でいっしょに学び、研究したいという人がいれば大歓迎です。問題は、「大学で何を学ぶのか」という目標を持ってほしいということです。高校生のみなさんにはとても期待しています。

**高島副学長:**高校生のみなさんもグローバル化についてとても関心が高いことがわかって、とてもうれしく思いました。今日は参加していただいて、ありがとうございました。  
**原田学長:**もし、友だちと今日のことなど話して、何か質問が出てきたら、私の時間がある限りお答えします。ぜひ声をかけてください。今日はどうもありがとう。  
**高校生たち:**ありがとうございました。



# 2017年春、開設！ グローバルリーダーコース

熊本大学では、平成29年度(2017年度)から、文学部、法学部、理学部及び工学部の各学部にグローバルリーダーコースを新設します。入学後2年間(1年次・2年次)はグローバル教育カレッジで、グローバルリーダーに必要な能力および専門基礎力を身につけます。3年次に所属する学部の希望する学科もしくはコースに進級し(Late Specialization)、高度な専門科目を履修します。さらに、海外留学、インターンシップ等を通して、グローバルに活躍できる資質能力を身につけます。

### こんな学生に勧めたい！

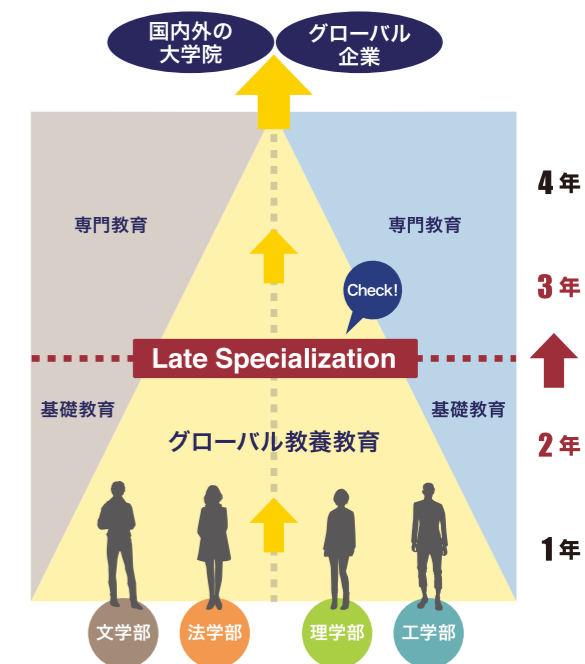
- ◆ 国際化に対応する幅広い教養を身につけたい人
- ◆ 国際交流および国際的なビジネスに携わることに意欲のある人
- ◆ 国際化社会を牽引する強い胆力(精神力)を身につけたい人
- ◆ 高度な専門性を国際社会で展開させたい人
- ◆ 地域に根ざし、グローバルに活躍する意欲と資質をもつ人

### 熊本大学の考える「グローバルリーダー」像

**国内外の地域の課題をグローバルな視点で考え、果敢に行動できる人。**

### 卒業後の進路は？

- ◆ グローバルな企業や公的機関などで、グローバルリーダーとして活躍することが期待されます。日本企業は、海外への生産拠点の移転や海外マーケットの拡大を図っています。そうした中、多様な考え方や価値観、発想を受け入れる柔軟性と、差異を越えて互いに論じ合うことのできる逞しさを身につけた学生が注目されています。
- ◆ また、国内外の大学院に進学し、さらに専門性を高めてもらいたいと考えています。
- ◆ 4年間を通して身につける、「幅広い教養」、「クリティカル・シンキング」、「国際対話力」、「情報発信力」、「高度な専門性」、「創造的知性」そして「リーダーシップ」は、卒業後の進路に大事な役割を果たします。



コースの詳細などは、熊本大学のホームページをご覧ください。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp>

熊本大学では、平成35年度までに外国人教員や海外でのキャリアを積んだ教員の割合を全教員の7割強とする目標を掲げています。

特に、グローバル教養科目を提供する、グローバル教育カレッジ・グローバル人材教育センターの教員は、海外教育経験者で構成されています。

グローバル科目は英語で行われる教養教育科目です。人文科学、社会科学、自然科学、学際科学等の領域の中から幅広く学ぶことで、本当に学びたいことを見つけることができます。

英語での講義・討議を通して語学カアップ、コミュニケーション能力アップにもつながります。熊本にいなながら、英語で世界に触れるチャンスです。

## 科目例

### The Brothers Grimm – More than Fairy Tales! グリム兄弟～おとぎ話だけではない！

グリム兄弟は『グリム童話』の編集者であるだけでなく、文化研究者であり、言語学者、辞書編集者、ドイツ語研究の創設者でした。技術的、経済的、社会的変革の時代である19世紀の、グリム兄弟の幅広い活動をみてみましょう。

### Scientific and Technological Literacy for Environmental Problems Solving

#### 環境問題解決のための科学技術リテラシー

どのような科学技術がグローバル(環境)問題を解決するのか、科学技術の概念や方法が環境問題解決にどのように応用できるのかについて学びます。現在のグローバル課題、特に環境問題の複雑さを理解することで、ためらうことなく科学技術の議論に参加できるようになるでしょう。

### Japan's Challenges in Global Partnership

#### グローバル・パートナーシップと日本の課題

人道的活動やグローバル企業との連携、学生ボランティアや留学プログラム、国際的起業家精神、様々なグローバルネットワーク活動の多様な側面から、グローバル・コミュニティにおける日本の参加とリーダーシップの役割について検討します。

## Q & A

### Q どのような学生が受講できるのですか？

**A** グローバルリーダーコースの学生を対象としていますが、他の学部の学生も選択することが可能です。

### Q 英語に不安がありますが、大丈夫ですか？

**A** 教員に質問・相談ができる「オフィスアワー」があります。講義は英語で行われますが、日本語がわかる教員もいますので、積極的に質問しましょう。



学生時代、スイスで日本語を学び、「JAPAN」というイメージができていたのに、実際に日本に来てみるとイメージと違っていました。ここには「いろんな日本」がありました。東京と熊本は違うし、都市と地方は違う。いろんな土地にいろんな暮らしや魅力がありますね。言語はツールです。やっぱり、現地で「生の体験」をすることが大事なのです。日本の学生たちのいいところは素直さと好奇心があるところ。でも、ちょっと勇気が不足していますね。勇気を出して、生のコミュニケーションと体験へと踏み出してほしいと思っています。

グローバル人材教育センター 小池 ウルスラ教授



## 熊大キャンパスで、グローバルコミュニケーション！

海外から熊本大学への留学生も年々増加しています。世界の留学生が集う熊大のキャンパスでは、今日も新たな出会いと交流が生まれています。

熊大への留学生数 **47** 国・地域 **940** 人  
(平成27年11月現在)



海外留学のリアルを知るには、経験者の生の声を聞くのがいちばん。  
今回は3人の留学体験者に体験談を話していただきました。  
熊本大学附属図書館にて



あつという間の充実の日々。  
可能なら長期留学に  
挑戦してみたいです。

### 加茂 愛基 KAMO Aiki

大学院自然科学研究科  
物質生命化学専攻 博士前期課程1年

- ◆ カナダ・アルバータ大学で1ヶ月の海外語学セミナー、フランス・ポルドー大学で3ヶ月の研究インターンシップを経験しました。
- ◆ 中学の時から英語を頑張ってきましたが、フランスの研究所ではディスカッションから発表まですべて英語で大変でした。ところが、研究所の外では英語は通じなくて…。まったく分からないフランス語の生活に愕然。最初は、スーパーのレジで固まって、買物をあきらめました(笑)。
- ◆ でもその苦労があったから、学ぶことも多かった。外国の方や異文化と接することへの抵抗がなくなったし、この経験を生かして国際レベルのモノづくりに携わっていきたくと思っています。
- ◆ 留学では見ることで触れることが初めてのことばかりで、充実した日々でした。機会があれば、長期留学にぜひ挑戦してみたいですね。

とりあえず行け！  
って言いたいな。  
留学経験の価値は本当に大きい。

### 嶋本 雅子 SHIMAMOTO Masako

大学院医学教育部  
医学専攻 博士課程4年

- ◆ アメリカ留学後、熊本大学院に進学。博士課程の一環でタイやアメリカでインターン経験を積みました。
- ◆ 留学は多くを学べる機会です。異文化を理解することは、寛容の心を身につけ、日本人同士の理解にもつながるし、世界で起きていることを自分の問題として捉えられるようになりました。
- ◆ 大事なのは自分を知り、他人に伝える内容を持てる自分であること。内容があつてこそその言葉ですらね。
- ◆ 就職、決まりました！習得した言語や専門性を活かしたいです。日本と海外とをつなぐ役割、また日本にいる海外の方の相談窓口にもなれたらと思っています。
- ◆ 高校生の皆さんには「とりあえず、留学に行きなさい！」とアドバイスしたいですね(笑)。日本を離れてみることで、ぐんと成長できますよ！

不安に思う人に言いたい。  
留学って、意外に  
カンタンですよ(笑)。

### 江口 省悟 EGUCHI Shogo

文学部  
コミュニケーション情報学科4年

- ◆ アメリカ・モンタナ州立大学に10ヶ月留学しました。交換留学で負担も比較的軽く、語学以外の授業も履修できました。その時に履修した社会心理学が、熊本大学院に進むきっかけになりましたから、素晴らしい留学ですね。
- ◆ モンタナでは友人たちとドライブやキャンプに行きましたね。パッファローを見たり、山中で星を見上げたり。
- ◆ 留学経験のおかげで物怖じしなくなつたし、世界の広さ・狭さも知ることができました。そういう柔軟性が僕らには必要な気がします。
- ◆ 海外の人たちと交流する時に大事なと思っているのは、柔軟さ。いろんな文化や人に対応するわけですよ。ちょっとチャライくらいでいいかもね(笑)。
- ◆ 留学はみんなにおすすめしたい。書類作りはちょっと面倒だけど、サポートしてくれる大学スタッフもいるので意外に簡単。あつという間に外国です(笑)。

サポートがあるから、  
海外留学も安心です。

熊本大学は多くの学生に、海外留学などのグローバル体験をすすめています。

#### ■ 交換留学

1年以内の期間で、海外の協定校に留学。熊大から留学可能な協定校は世界各地に127機関、29ヶ国・地域(平成27年12月現在)。リーズ大学やダラム大学(イギリス)、ポルドー大学(フランス)など、トップレベルの大学にも留学可能。

#### ■ 海外語学セミナー

4週間程度の期間で、異文化交流や語学力向上を目的に行います。アルバータ大学(カナダ)やフライブルク大学(ドイツ)、ニューカッスル大学(オーストラリア)など。

#### ■ サマープログラム

協定校で実施されているサマープログラムに参加することもできます。授業料や寮費が免除されることもあります。東亜大学校(韓国)、上海師範大学(中国)、スラバヤ工科大学(インドネシア)など。

#### 留学の準備もサポートしています。

#### ■ シリーズ留学説明会「留学のすすめ」

留学の手続き、単位認定、就職と留学、留学経験者による体験談紹介など、毎回テーマを決めて、情報提供をしています。

#### ■ 奨学金制度

日本学生支援機構(JASSO)奨学金、文部科学省「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」、熊本大学独自の奨学金「熊本大学国際奨学事業」、各国政府奨学金、地方自治体、民間団体等の奨学金があります。

#### ■ 英語力向上を目的とした課外講座

留学のための英語能力向上を目的に、TOEFL/IELTS対策講座を実施しています。

#### あなたの海外留学をしっかりサポートします。気軽に相談してください。

留学についての相談は、グローバル教育カレッジまでお気軽にお問い合わせください。各協定校のパンフレットや留学した先輩の体験などの留学関係の資料を閲覧できます。ぜひお越しください。

グローバル教育カレッジ(黒髪北キャンパス 全学教育棟A棟2F)  
Tel 096-342-2138 E-mail: gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp



## 高校生・高専生のみなさん、 参加してみませんか。



熊本大学では、  
このような国際交流事業を行っています。

### 「熊大グローバルYouthキャンパス」事業

高校生などが大学入学前に国際的な学びを体験できるよう、教育環境づくりのイベントを実施しているものです。九州内の中・高等学校や高専に対して、英語によるサマースクールや熊大生からの留学体験報告会なども行っています。「海外からの留学生たちと会話してみたい」「留学経験のある熊大生から体験談や留学の方法などについて聞いてみたい」そんな方は、気軽に参加してみてください。皆さんの参加をお待ちしています。

#### 平成27年度の主なイベント



#### 2015 Summer Program in English 留学生と高校生の国際交流イベント

ASEAN地域からの大学生37人が日本文化等を学ぶ目的で2015 Summer Program in Englishに参加しました。プログラムの一環として留学生と高校生が交流できるイベントを開催。留学生が熊本でのフィールドワークを英語で発表しました。留学生が母国の歌を教えて高校生と一緒に歌うなど、笑いの絶えない国際交流になりました。英語はツール！あなたの興味関心を海外の同世代の仲間と共有するいい機会になりますよ。



#### サマー・フェスタ

熊本大学のオープンキャンパスに合わせて開催されたサマー・フェスタ。外国人留学生との国際交流ゲームなどに加え、インターネットで熊本とオーストラリアをつなぎ、留学中の熊大生と高校生の質疑応答を行いました。また、入学後の留学などに関する相談会も実施。九州内の30校以上の高校から100人を超える高校生が参加しました。

### 2016年春、完成。グローバル教育カレッジ棟

- ◆ グローバル教育の専門施設「グローバル教育カレッジ棟」が、平成28年3月に完成します。アクティブラーニング(学生参加型)の授業を行う教室、広々とした交流ラウンジ、学生の質問や相談を受ける相談室など、学びと交流の場が提供されます。交流ラウンジにはキッチンも備え付けていますので、留学生らと世界や日本の料理を一緒に作ったりすることもできます。
- ◆ グローバル科目が提供されるほか、日本人学生と外国人留学生の交流の場、高校生とのイベントの場(熊大グローバルYouthキャンパス事業)として活用される予定です。
- ◆ ちょっと休憩に立ち寄って、留学生と交流してみてもはどうでしょう。様々なバックグラウンドの仲間との出会いは、学生生活で得られる素敵な宝物となるはずです。



文部科学省 スーパーグローバル大学創成支援事業

「地域と世界をつなぐ、グローバル大学Kumamoto」広報誌 発行：平成28年1月

発行 国立大学法人 熊本大学

グローバル教育カレッジ／国際戦略ユニット(全学教育棟A棟2F)

TEL : 096-342-2106 E-mail : gji-kikaku@jim.kumamoto-u.ac.jp

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu>

<http://www.facebook.com/kumamotouniversityiso>

